

岐阜県立岐阜聾学校で防災講座を行いました

令和6年10月2日（水）、岐阜県立岐阜聾学校の小学部24名・中学部8名・高等部11名に防災講座を行いました。講座中は、先生が内容を手話で伝えて下さいました。

講座では、8月末から9月にかけての台風10号や9月下旬の能登豪雨について振り返り、この地域でも被害のあった昭和51年9.12豪雨災害など、過去に発生した水害について学び、中学部・高等部ではハザードマップで自宅の浸水深も確認しました。

また、小学部は映像、中学部・高等部はVRで浸水を疑似体験しました。体験後に、水害時の避難行動を質問すると、多くの児童や生徒が「上階へ逃げる」または「近所の高層マンションへ逃げる」と回答し、垂直避難への意識が高いことが伺えました。発災直後の避難所の様子も確認し、在宅避難や縁故避難についても学びました。

また、講座の後には垂直避難の訓練も行われました。

今回の講座が、児童や生徒たちの防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

